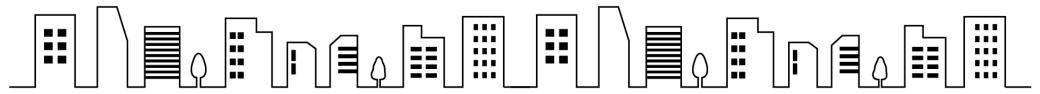
**資料1-2** 

# 小樽市のまちづくりに関する市民アンケート調査について

小樽市立地適正化計画策定委員会資料(第2回)







#### (1) 市民アンケート調査の概要

#### ●調査の目的

・現在及び将来の住まいや日常生活における必要な施設などについて、 意見を収集、分析、市民の意向を明らかにし、計画策定の基礎資料と するため実施

調査時期: 令和3年6月7日(月)~6月17日(木)

対象者 : 市内に住んでいる18歳以上の方を無作為に抽出3,000人

#### ●調査の方法

- ・調査票は郵送配布、郵送回収
- ・アンケートの回答は、本人が直接調査票に記入することとする。(本人が記入できない場合は、家族の方などが、本人の考えを聞きながら代筆可)



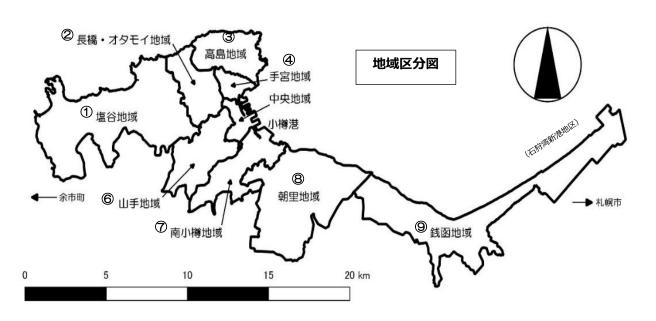
## ●アンケートの設問項目

問1~問7 属性	回答者属性を把握するとともに、階層別傾向を把握するた めのクロス集計項目として設定
問8 現在の利用する施設の地域及 び移動手段の把握 (市全体)	基本方針や誘導施設などの検討のための参考資料とするため、日常生活の中で利用する日用品販売店舗やコンビニエンスストアなどの施設について、利用する地域及びその移動手段を把握
問9 将来も利用したい施設の重要 度及び移動手段の把握 (市全体)	基本方針や誘導施設などの検討のための参考資料とするため、将来における、加齢による施設の重要度及びその移動手段の変化を把握
問10 身近な地域の拠点などへの移 住の関心度合	計画に対する理解を深めるとともに、誘導施設や誘導施策等 の検討のための参考資料するため、身近な地域の拠点などへ の移住の関心度合を把握
問11 身近な地域の拠点での日常利 用施設の必要性・重要性	計画に対する理解を深めるとともに、誘導施設や誘導施策等 の検討のための参考資料とするため、身近な地域の拠点にお ける日常利用する施設の必要性・重要性を把握
問12 自由意見	その他、参考となる意見を収集



## ●調査における9つの地域区分

・調査票の問8の中での地域については、以下の「地域区分図」と「地域番号」とする。



地域番号	地域名	主な町丁目
1	塩谷地域	蘭島、忍路、桃内、塩谷
2	長橋・オタモ イ地域	オタモイ、幸、長橋、旭町
3	高島地域	祝津、赤岩、高島
4	手宮地域	手宮、末広町、梅ヶ枝町、錦町、 清水町、豊川町、石山町、 色内3丁目
<b>(5)</b>	中央地域	稲穂、花園、色内1・2丁目、港町、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目
6	山手地域	富岡、緑、最上、松ヶ枝、入船3 ~5丁目、天狗山
7	南小樽地域	住ノ江、住吉町、有幌町、信香町、 若松、奥沢、天神、真栄、潮見台、 新富町、勝納町、若竹町、築港
8	朝里地域	桜、船浜町、朝里、新光、望洋台、 新光町、朝里川温泉 
9	銭函地域	張碓町、春香町、桂岡町、銭函、 見晴町、星野町 <b>3</b>





**(2)回答・分析結果** 配布数:3,000 回収数:870 <u>回収率:29.0%</u>

#### 【質問1】性別[単一回答]

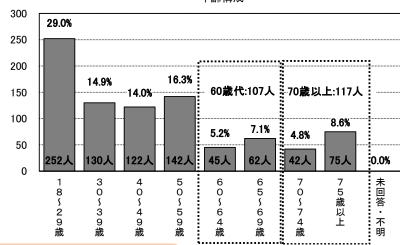
性別	回答者	割合
① 男性	332人	38. 2%
② 女性	536人	61.6%
無回答・不明	2人	0. 2%
合計	870人	100%

・回答者の性別は、<u>男性332人(38.2%)、女性536人</u> (61.6%) となっており、女性の回答が多くなっている。

# 無回答·不明, 2人, 0.2% 男性, 332 人, 38.2% 女性, 536 人, 61.6%

#### 【質問2】年齢構成[単一回答]

	_	
年齢	回答者	割合
① 18~29歳	252人	29. 0%
② 30~39歳	130人	14. 9%
③ 40~49歳	122人	14. 0%
④ 50~59歳	142人	16. 3%
⑤ 60~64歳	45人	5. 2%
⑥ 65~69歳	62人	7. 1%
⑦ 70~74歳	42人	4. 8%
⑧ 75歳以上	75人	8. 6%
未回答・不明	0人	0. 0%
合計	870人	100%



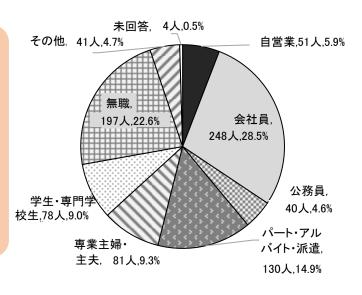
・回答者の年齢は、<u>18~29歳が最も多く252人(29.0%)、30歳代から</u> 70歳代以上まで概ね100人程度の回答となっており、年代のバラツキが 少ない回答数となっている。



#### 【質問3】職業[単一回答]

	職業	回答者	割合
1	自営業	51人	5. 9%
2	会社員	248人	28. 5%
3	公務員	40人	4. 6%
4	パート・アルバイト・派遣	130人	14. 9%
5	専業主婦・主夫(パート・アルバイト除く)	81人	9. 3%
6	学生・専門学校生	78人	9. 0%
7	無職(年金受給者を含む)	197人	22. 6%
8	その他	41人	4. 7%
	未回答・不明	4人	0. 5%
	合計	870人	100%

・回答者の職業は、 会社員が最も多く 248人(28.5%)、 次に無職(年金受 給者を含む)で 197人(22.6%)、 パート・アルバイ ト・派遣が130人 (14.9%)となっ ている。



#### 職業と年齢別の回答数

	18~29歳		歳 30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 自営業	4	1. 6	9	6. 9	8	6. 6	19	13. 4	7	6. 5	4	3. 4
② 会社員	85	33. 7	53	40. 8	42	34. 4	43	30. 3	22	20. 6	3	2. 6
③ 公務員	14	5. 6	10	7. 7	6	4. 9	8	5. 6	2	1. 9	0	0. 0
④ パート・アルバイト・派遣	30	11. 9	21	16. 2	26	21. 3	33	23. 2	17	15. 9	3	2. 6
⑤ 専業主婦・主夫(パート・アルバイト除く)	6	2. 4	14	10. 8	16	13. 1	20	14. 1	17	15. 9	8	6.8
⑥ 学生·専門学校生	76	30. 2	2	1. 5	0	0.0	0	0.0	0	0. 0	0	0. 0
⑦ 無職(年金受給者を含む)	22	8. 7	14	10. 8	15	12. 3	10	7. 0	39	36. 4	97	82. 9
⑧ その他	13	5. 2	7	5. 4	8	6. 6	9	6. 3	3	2. 8	1	0. 9
未回答・不明	2	0.8	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0. 0	1	0. 9
	252		130		122		142		107		117	

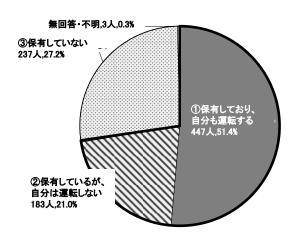


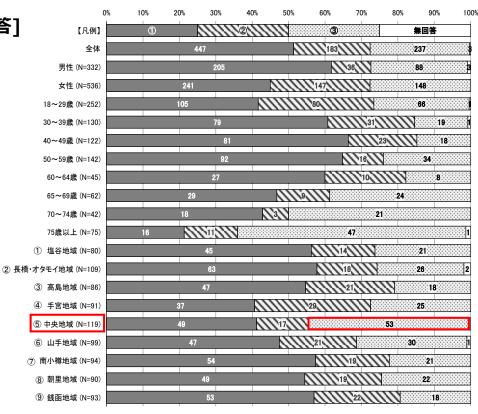


#### 【質問4】ご自宅の自家用車の有無 [単一回答]

車保有状況	回答者	割合	割合2
①保有しており、自分も運転する	447	51.4%	72. 4%
②保有しているが、自分は運転しない	183	21.0%	72.4%
③保有していない	237	27. 2%	27. 2%
無回答・不明	3	0.3%	
合計	870	100%	

・ご自宅の自家用車の有無では、<u>自宅に自家用車があるが約7割(72.4%)で、「自分も運転する」と回答した人は約半数となっている。性別では、ご自宅に自家用車がある割合に違いはないものの、「自分も運転する」割合は男性の方が高くなっている。</u>



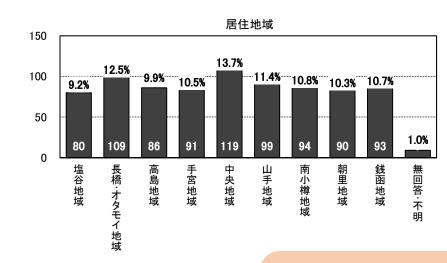


- ・年齢別では、40歳代から「自分も運転する」と回答した人が徐々に減ってきているものの、60歳代までは、 「自分も運転する」と回答した人が多くなっている。
- ・居住地別では、<u>中央地域で「保有していない」の回答</u> が多く53人(44.5%) となっている。



#### 【質問5】あなたの現在のお住まい(ご住所)はどちらですか [単一回答]

	居住地域	回答数	割合
1	塩谷地域	80	9. 2%
2	長橋・オタモイ地域	109	12. 5%
3	高島地域	86	9.9%
4	手宮地域	91	10. 5%
⑤	中央地域	119	13. 7%
6	山手地域	99	11. 4%
7	南小樽地域	94	10. 8%
8	朝里地域	90	10. 3%
9	銭函地域	93	10. 7%
	無回答·不明	9	1.0%
	合計	870	100%





・回答者の居住地域は、<u>中</u> 央地域が最も多く119人 (13.7%)、次に<u>長橋・</u> オタモイ地域の109人 (12.5%)となっている。 地域による回答者数のば らつきは少なく、各地域で 10%程度の回答となって いる。

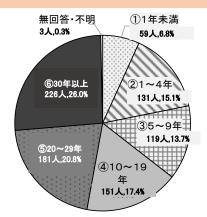


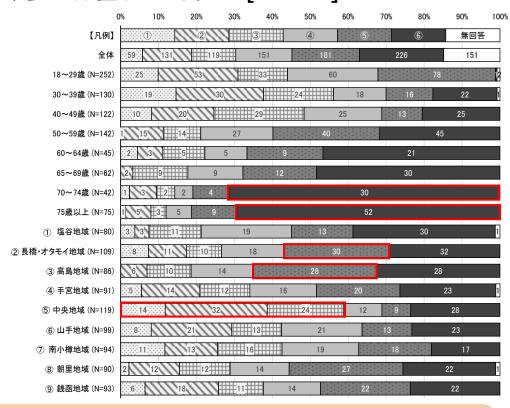


#### 【質問6】あなたは現在のところに何年くらいお住まいですか [単一回答]

居住年数	回答数	割合	割合2
①1年未満	59	6.8%	
②1~4年	131	15. 1%	52. 9%
③5~9年	119	13. 7%	52.9%
④10~19年	151	17. 4%	
⑤20~29年	181	20.8%	46. 8%
⑥30年以上	226	26.0%	40.0%
無回答・不明	3	0. 3%	0. 3%
合計	870	100%	

・回答者の居住地域での居住年数は、30年以上 と回答した方が最も多く226人(26.0%)、 20~29年と回答した方が181人(20.8%) となり、20年以上住んでいる方が430人 (46.8%)で約半数を占めている。





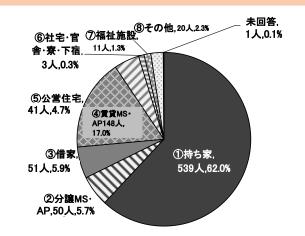
- ・年齢が上がるにつれて、居住年数が長くなる傾向が見られ 70歳以上の回答者の7割は、30年以上住んでいると回答し ている。
- ・<u>居住地域別</u>では、高島地域や長橋・オタモイ地域で20年住んでいると回答した割合が高くなっており、<u>中央地域</u>では、 10年未満と回答した方が多くなっている。

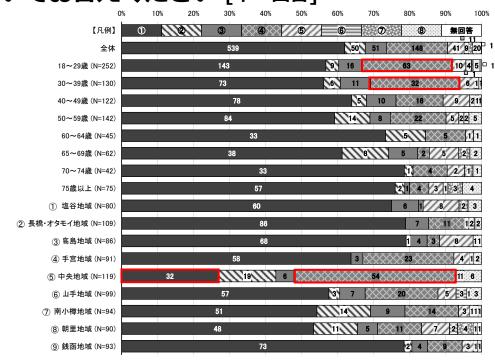


#### 【質問7】現在のお住まいの居住形態についてお答えください [単一回答]

居住形態	回答数	割合
①持ち家(一戸建て)	539	62. 0%
②分譲マンション・アパート	50	5. 7%
③借家(一戸建て)	51	5. 9%
④賃貸マンション・アパート	148	17. 0%
⑤公営住宅(市営住宅・道営住宅など)	41	4. 7%
⑥社宅・官舎・寮・下宿など	9	1. 0%
⑦老人ホーム・グループホームなどの福祉施設	11	1. 3%
⑧その他	20	2. 3%
未回答・不明	1	0. 1%
合計	870	100%

・回答者の居住形態は、<u>持ち家が最も多く539人で(62.0%)</u>となっており、次に賃貸マンション・アパートが続き148人(17.0%)となっている。





- ・持ち家に関しては、年齢別での違いに大差はないものの<u>年</u> 代が上がるにつれて持ち家の割合が高くなる傾向が見られる。 賃貸マンション・アパートに関しては、<u>40歳未満の人が回</u> <u>答が多くなっている</u>。
- ・居住地域別では、中央地域を除き、持ち家と回答した人が 多くなっている。また、中央地域、南小樽地域では、分譲マンション・アパートと回答した人の割合がほかの地域と比べて高くなっている。





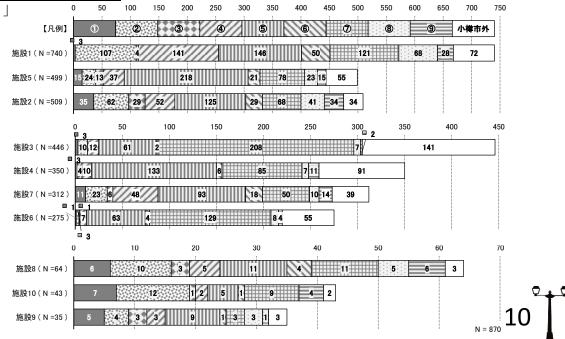
【質問8】現在、あなたは、日常生活の中で、以下の施設について、 a.どこの地域にある施設を利用していますか。 【回答:よく利用する】 [複数回答]

よく利用する施設のある地域	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	市外	回答数 計	回答者 数	回答者 数割合
施設1 食料品・日用品販売店舗	3	107	4	141	146	50	121	68	28	72	740	639	73. 4%
施設5 金融機関	15	24	13	37	218	21	78	23	15	55	499	471	54. 1%
施設2 コンビニエンスストア	35	62	29	52	125	29	68	41	34	34	509	473	54. 4%
施設3 生活用品販売店舗	3	10	0	12	61	2	208	7	2	141	446	418	48. 0%
施設4 飲食店	3	4	0	10	133	6	85	7	11	91	350	328	37. 7%
施設7 病院・診療所	11	23	6	48	93	18	50	10	14	39	312	303	34. 8%
施設6 総合病院	1	3	1	7	63	4	129	8	4	55	275	268	30. 8%
施設8 子育て支援施設	6	10	3	5	11	4	11	5	6	3	64	64	7. 4%
施設10 集会施設	7	12	1	2	5	1	9	0	4	2	43	41	4. 7%
施設9 社会福祉施設	5	4	3	3	9	1	3	3	1	3	35	34	3. 99
※回答者数割合は、「本設	問の	回答	者数	l ÷	「全	体の[	可答	者数	(N=8	370)	1	0	50

①塩谷地域 ②長橋・ オタモイ地域 ③高島地域 ④手宮地域 ⑤中央地域 ⑥山手地域 ⑦南小樽地域 ⑧朝里地域 ⑨銭函地域

※複数回答について 例えば、食料品・日用品販売店舗 の利用の回答について よく利用する:朝里2箇所 利用する: 中央1箇所 の場合は、「回答者数」は1です が、「回答数」は3です。

- ・「よく利用する」施設としては、<u>「食料品・日用品販売店舗」、「金融機関」、「コンビニエンスストア」、「生活用品販売店舗」の順に回答数が多く</u>、回答者の半数もしくはそれ以上の方がよく利用すると回答している。
- ・<u>施設の立地場所</u>を見ると、施設の種類によって違いが見られるものの、<u>中央地域が多く</u>なっている。
- ・「生活用品販売店舗」では、南小樽地域や市外(札幌・余市)と回答した人が多く、「総合病院」では、小樽市立病院がある南小樽地域が多くなっている。







【質問8】現在、あなたは、日常生活の中で、以下の施設について、 a.どこの地域にある施設を利用していますか。 【回答:利用する】 [複数回答]

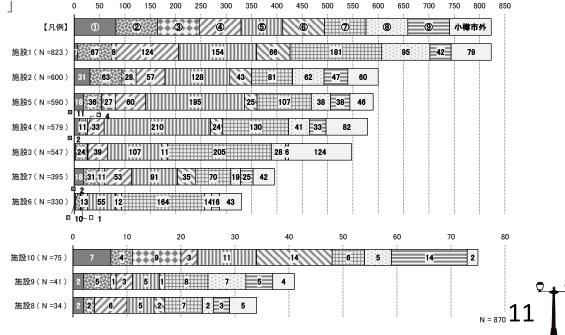
利	用する施設のある地域	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	市外	回答数 計	回答者 数	回答者 数割合
施設1	食料品・日用品販売店舗	7	67	8	124	154	66	181	95	42	79	823	564	64. 8%
施設2	コンビニエンスストア	31	63	28	57	128	43	81	62	47	60	600	470	54.0%
施設5	金融機関	18	36	27	60	195	25	107	38	38	46	590	475	54.6%
施設4	飲食店	11	11	4	33	210	24	130	41	33	82	579	424	48. 7%
施設3	生活用品販売店舗	2	24	1	39	107	11	205	28	6	124	547	450	51. 7%
施設7	病院•診療所	18	31	11	53	91	35	70	19	25	42	395	344	39. 5%
施設6	総合病院	2	10	1	13	55	12	164	14	16	43	330	300	34. 5%
施設10	集会施設	7	4	9	3	11	14	6	5	14	2	75	73	8.4%
施設9	社会福祉施設	2	5	1	3	5	1	8	7	5	4	41	38	4. 4%
施設8	子育て支援施設	2	2	0	6	5	2	7	2	3	5	34	34	3. 9%

①塩谷地域②長橋モイ地域③高島地域④手宮地域⑤中央地域⑥山手が樽地域⑦朝里地域⑨銭函地域

※複数回答について 例えば、食料品・日用品販売店舗 の利用の回答について よく利用する:朝里2箇所 利用する: 中央1箇所 の場合は、「回答者数」は1です が、「回答数」は3です。

※回答者数割合は、「本設問の回答者数」÷「全体の回答者数(N=870)」

・「利用する」施設としては、「食料品・日用品販売店舗」、「コンビニエンスストア」、「金融機関」、「飲食店」の順に回答数が多く、利用する施設の場所では、中央地域と南小樽地域と回答数が多くなっている。

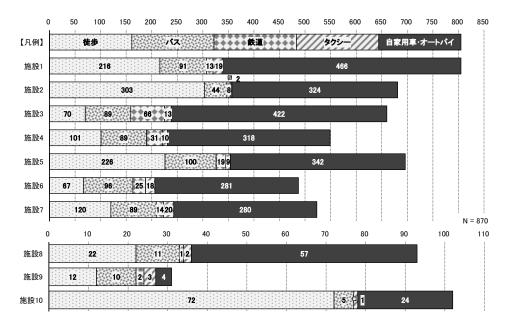




【質問8】現在、あなたは、日常生活の中で、以下の施設について、b.よく利用する施設への主な移動手段はどれですか。(1つにO) [単一回答]

	項目	徒歩	バス	鉄道	タクシー	自家用車・オートバイ	無回答	合計
施設1	食料品・日用品販売店舗	216	91	13	19	466	65	870
施設2	コンビニエンスストア	303	44	8	2	324	189	870
施設3	生活用品販売店舗	70	89	66	13	422	210	870
施設4	飲食店	101	89	31	10	318	321	870
施設5	金融機関	226	100	19	9	342	174	870
施設6	総合病院	67	96	25	18	281	383	870
施設7	病院・診療所	120	89	14	20	280	347	870
施設8	子育て支援施設	22	11	1	2	57	777	870
施設9	社会福祉施設	12	10	2	3	4	839	870
施設10	集会施設	72	5	0	1	24	768	870

- ・「よく利用する」施設への移動手段では、社会福祉施設と集会施設以外はすべて<u>「自家用車・オートバイ」</u>を選択した人が多くなっている。
- ・コンビニエンスストア、金融機関、 社会福祉施設、集会施設では、3割 以上の方が「徒歩」を選択している。
- ・総合病院、社会福祉施設に関しては 「バス」を選択した方が2番目に多 くなっている。



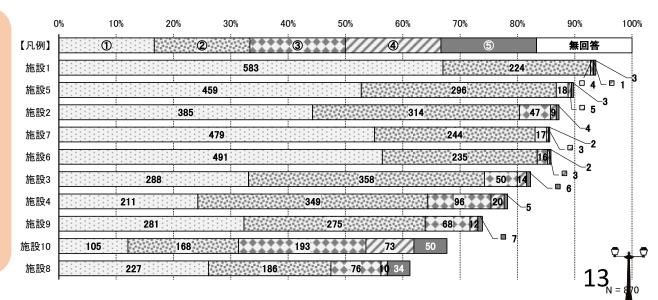




【質問9】将来(概ね10年から20年後)、あなたが加齢した際、 a.将来も利用したい、必要な施設だと思いますか。(あなたが利用するとして1つに〇) [単一回答]

将来も利	川用したい必要な施設	①とても必要だと思う	②必要だと思う	③どちらでもな い	<ul><li>④あまり必要だと思わない</li></ul>	⑤必要だと思わ ない	無回答	合計
施設1	食料品・日用品販売店舗	583	224	4	1	3	55	870
施設5	金融機関	459	296	18	5	3	89	870
施設2	コンビニエンスストア	385	314	47	9	4	111	870
施設7	病院・診療所	479	244	17	3	2	125	870
施設6	総合病院	491	235	16	3	2	123	870
施設3	生活用品販売店舗	288	358	50	14	6	154	870
施設4	飲食店	211	349	96	20	5	189	870
施設9	社会福祉施設	281	275	68	12	7	227	870
施設10	集会施設	105	168	193	73	50	281	870
施設8	子育て支援施設	227	186	76	10	34	337	870

- ・将来も利用したい、必要だと思う施設については、「食料品・日用品販売店舗」、「金融機関」、「総合病院」、「病院・診療所」の4施設について、回答者の半数以上の方が、「①とても必要だと思う」を選択しています。
- ・とりわけ、<u>「食料品・日用品販売店</u> <u>舗」</u>については、「①とても必要だと 思う」と「②必要だと思う」の合計が 807人で、<u>回答者の約93%の方か</u> 必要だと回答しています。





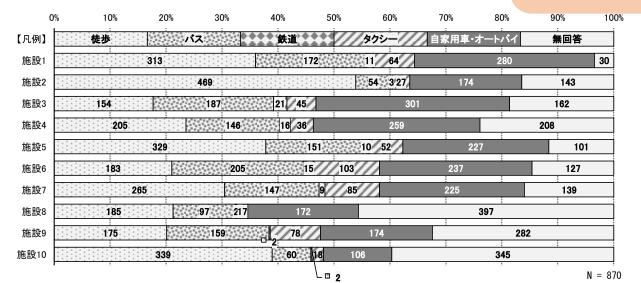
【質問9】将来(概ね10年から20年後)、あなたが加齢した際、 b.将来、各施設を利用する場合、どの移動手段が望ましいと思いますか。

胡士口、牧新工机	徒	步	バ	ス	鉄	道	タク	シー	自家用車·	オートバイ	無回	回答
望ましい移動手段	現在	将来	現在	将来	現在	将来	現在	将来	現在	将来	現在	将来
施設1 食料品・日用品販売店舗	216	313	91	172	13	11	19	64	466	280	65	30
施設2 コンビニエンスストア	303	469	44	54	8	3	2	27	324	174	189	143
施設3 生活用品販売店舗	70	154	89	187	66	21	13	45	422	301	210	162
施設4 飲食店	101	205	89	146	31	16	10	36	318	259	321	208
施設5 金融機関	226	329	100	151	19	10	9	52	342	227	174	101
施設6 総合病院	67	183	96	205	25	15	18	103	281	237	383	127
施設7 病院・診療所	120	265	89	147	14	9	20	85	280	225	347	139
施設8 子育て支援施設	22	185	11	97	1	2	2	17	57	172	777	397
施設9 社会福祉施設	12	175	10	159	2	2	3	78	4	174	839	282
施設10 集会施設	72	339	5	60	0	2	1	18	24	106	768	345

#### (当てはまるもの1つに〇)

[単一回答]

・各施設への移動手段を見ると、<u>すべての施設で「徒歩」、「バス」、「タクシー」を選択した人が現在の回答数よりも増えている</u>一方、子育て支援施設、社会福祉施設、集会施設以外の施設で「自家用車・オートバイ」の回答数が減っている。







15

## 小樽市のまちづくりに関する市民アンケート調査

【質問10】便利な中心市街地や身近な地域の拠点の近くなどに、あなたが移り住むことについて、関心がありますか。 (当てはまるもの1つに〇) [単一回答]

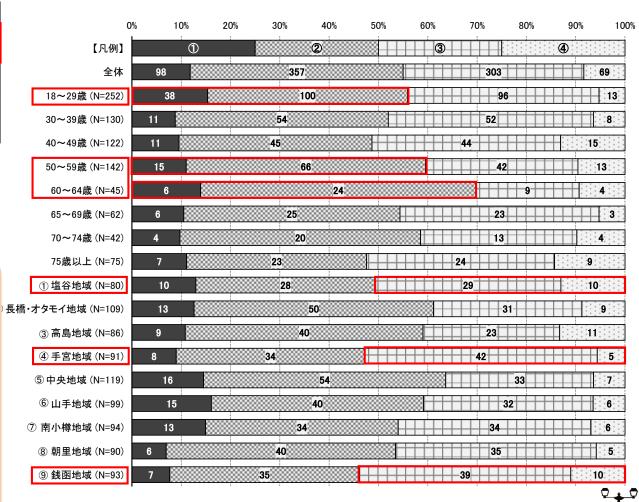
項目		回答数	割合
①とても関心がある		98	11.3%
②関心がある		357	41.0%
③あまり関心がない		303	34.8%
④全く関心がない		69	7.9%
無回答·不明		43	4.9%
合計		870	100%
0% 25%	50%	75%	100%

98 357 303 69 43

①とても関心がある②関心がある□④全く関心がない□無回答・不明

□③あまり関心がない

- ・便利な中心市街地や身近な地域の拠点 の近くなどへ移り住むことについては、 回答者全体の半数以上の455人 (52.3%)が、関心があると回答して いる。
- ・年齢別では、18~29歳、50歳以上で関心があるという回答の割合が高くなっている。
- ・居住地域別では、<u>⑨銭函、④手宮、①</u> 塩谷地域で、「③あまり関心がない」 「④全く関心がない」の回答割合が高く なっている。





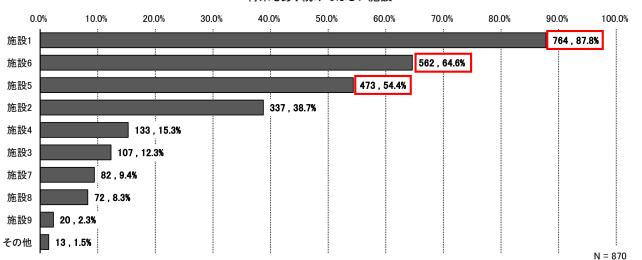
【質問11】身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設はどれですか。 (当てはまるもの3つまでに〇)【複数回答】

	将来もあり続けてほしい施設	回答数	選択率
施設1	スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗	764	87.8%
施設6	医院・診療所(内科・小児科)	562	64.6%
施設5	金融機関(銀行・郵便局等)	473	54.4%
施設2	コンビニエンスストア	337	38.7%
施設4	飲食店(テイクアウト含む)	133	15.3%
施設3	衣料品・家電等の生活用品販売店舗	107	12.3%
施設7	子育て支援施設(保育所・幼稚園・認定こども園等)	82	9.4%
施設8	社会福祉施設(デイサービスセンター等)	72	8.3%
施設9	集会施設(集会所・町内会館等)	20	2.3%
その他		13	1.5%
	アンケート回答者	870	

・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設は、「スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗」が最も多く、764人(87.8%)の方が選択している。

ついで、「医院・診療所(内科・小児科)」が 562人(64.6%)、「金融機関(銀行・郵便局等)」 が473 人(54.4%)を選択している。

#### 将来もあり続けてほしい施設



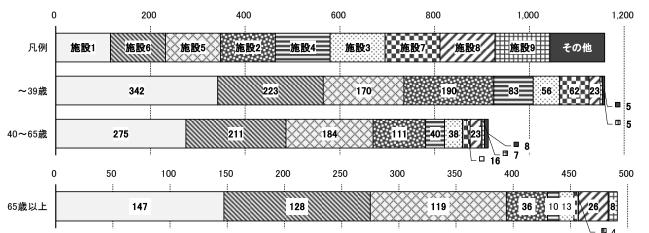


【質問11】身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設はどれですか。

(当てはまるもの3つまでにO) (年代別) [複数回答]

将来もあり続けてほしい施設(年代別)	全体	~39歳	40~64歳	65歳以上	年代不明
施設1 スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗	764	342	275	147	0
施設6 医院·診療所(内科·小児科)	562	223	211	128	0
施設5 金融機関(銀行·郵便局等)	473	170	184	119	0
施設2 コンビニエンスストア	337	190	111	36	0
施設4 飲食店(テイクアウト含む)	133	83	40	10	0
施設3 衣料品・家電等の生活用品販売店舗	107	56	38	13	0
施設7 子育て支援施設(保育所・幼稚園・認定こども園等)	82	62	16	4	0
施設8 社会福祉施設(デイサービスセンター等)	72	23	23	26	0
施設9 集会施設(集会所・町内会館等)	20	5	7	8	0
その他	13	5	8	0	0
	2,563	1, 159	913	491	0
アンケート回答者	870	382	309	179	0

#### 将来もあり続けてほしい施設(年代別)



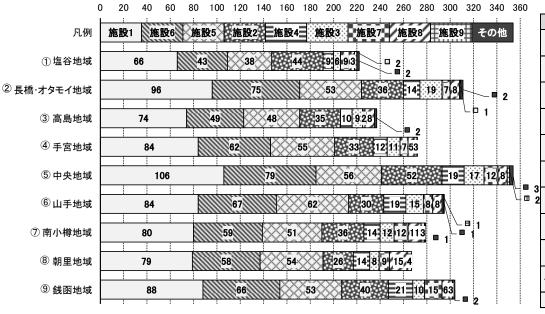
- ・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、 将来もあり続けてほしい 施設について、3区分の 年齢別の回答に大きな違いは見られず、各年代と も「スーパーやドラッグ ストア等の食料品・円別 品販売店舗」「医院・診 療所(内科・小児科)」 を回答者の半数以上の方 が選択している。
- ・<u>「金融機関(銀行・郵便</u> 局等)」は、40歳以上の 年代で半数以上の方が選 択している。
- ・39歳までの年代では、 「コンビニエンススト ア」を半数以上の方が選 択している。





【質問11】身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設はどれですか。 (当てはまるもの3つまでに〇)(<mark>地域別)</mark>[複数回答]

将来もあり続けてほしい施設(地域別)



将来も	あり続けてほしい施設(地域別)	全体	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	不明
施設1	スーパーやドラッグストア等の食	764	66	96	74	84	106	84	80	79	88	7
加設「	料品•日用品販売店舗	87.8%	82.5%	88.1%	86.0%	92.3%	89.1%	84.8%	85.1%	87.8%	94.6%	77.8%
施設6	医院・診療所(内科・小児科)	562	43	75	49	62	79	67	59	58	66	4
加克又	<b>上記 記が</b> (ア コイ 1 つじ イ )	64.6%	53.8%	68.8%	57.0%	68.1%	66.4%	67.7%	62.8%	64.4%	71.0%	44.4%
施設5	金融機関(銀行・郵便局等)	473	38	53	48	55	56	62	51	54	53	3
NE EXO	亚州(成员(武门 五)(为号)	54.4%	47.5%	48.6%	55.8%	60.4%	47.1%	62.6%	54.3%	60.0%	57.0%	33.3%
施設2	コンビニエンスストア	337	44	36	35	33	52	30	36	26	40	5
川也 10人之	132-23/04/	38.7%	55.0%	33.0%	40.7%	36.3%	43.7%	30.3%	38.3%	28.9%	43.0%	55.6%
施設4	飲食店(テイクアウト含む)	133	9	14	10	12	19	19	14	14	21	1
יאמטונ	他設4 妖長店(デイグア・クトさむ)	15.3%	11.3%	12.8%	11.6%	13.2%	16.0%	19.2%	14.9%	15.6%	22.6%	11.1%
施設3	衣料品・家電等の生活用品販売	107	6	19	9	11	17	15	12	8	10	0
ne axo	店舗	12.3%	7.5%	17.4%	10.5%	12.1%	14.3%	15.2%	12.8%	8.9%	10.8%	0.0%
施設7	子育て支援施設(保育所・幼稚	82	9	7	2	7	12	8	12	9	15	1
, 加西文 /	園・認定こども園等)	9.4%	11.3%	6.4%	2.3%	7.7%	10.1%	8.1%	12.8%	10.0%	16.1%	11.1%
施設8	社会福祉施設(デイサービスセン	72	3	8	8	5	8	8	11	15	6	0
ne axo	ター等)	8.3%	3.8%	7.3%	9.3%	5.5%	6.7%	8.1%	11.7%	16.7%	6.5%	0.0%
施設9	集会施設(集会所・町内会館等)	20	2	1	0	3	2	1	3	4	3	1
施設9 朱云施改(朱云州•则内云路寺)		2.3%	2.5%	0.9%	0.0%	3.3%	1.7%	1.0%	3.2%	4.4%	3.2%	11.1%
その他		13	2	2	2	0	3	1	1	0	2	0
CONE		1.5%	2.5%	1.8%	2.3%	0.0%	2.5%	1.0%	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%
	アンケート回答者	870	80	109	86	91	119	99	94	90	93	9

・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設について、居住地域別の回答に大きな違いは見られず、全地域で「スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗」「医院・診療所 (内科・小児科)」が回答者の半数以上の方が選択している。

「金融機関(銀行・郵便局等)」は、③高島、④手宮、⑥山手、⑦南小樽、⑧朝里、⑨銭函地域で半数以上の 方が選択している。

①塩谷地域では、「コンビニエンスストア」を選択した方が44人(55%)で、半数以上となっている。



# (3) 市民アンケート調査における分析(まとめ)

	主な設問	分析概要	計画策定に向けた検討課題
【質問4】	ご自宅の自家用車の有無	・自宅に自家用車があるが約7割(72.4%)で、「自分も運転する」と回答した人は約半数となっている。性別では、ご自宅に自家用車がある割合に違いはないものの、「自分も運転する」割合は男性の方が高くなっている。 ・年齢別では、40歳代から「自分も運転する」と回答した人が徐々に減ってきているものの、60歳代までは、「自分も運転する」と回答した人が多くなっている。 ・居住地別では、中央地域で「保有していない」の回答が多く53人(44.5%)となっている。	<ul><li>・郊外部の高齢化が今後も進む地域において、 生活に必要な移動手段や施設サービスをど のように確保していくかが課題である。</li><li>・中央地域など都市機能が集積した利便性の高い地域では、車に頼らず住み続けられることから、 子育て世代や高齢世代も含めた居住の誘導を検討する必要がある。</li></ul>
【質問6】	あなたは現在のところに何年 くらいお住まいですか。	<ul> <li>居住年数は、30年以上と回答した方が最も多く226人 (26.0%)、20~29年と回答した方が181人(20.8%)となり、 20年以上住んでいる方が430人(46.8%)で、約半数を占めている。</li> <li>年齢が上がるにつれて、居住年数が長くなる傾向が見られ70歳以上の7割は、30年以上住んでいると回答している。</li> <li>居住地域別では、高島地域や長橋・オタモイ地域で20年住んでいる割合が高く、中央地域では、10年未満の割合が高い。</li> </ul>	<ul> <li>・持ち家(戸建て)を中心に20年以上住んでいる中・高年層が多いと考えられ、地域で済み続けることを念頭に、移動手段や施設サービスの確保のあり方を検討する必要がある。</li> <li>・中央地域では転勤族も含め借家住まいの若い世代が比較的多いと考えられ、若年層がさらに定着し小樽に住み続けられるような居住の受け皿づくりを検討する必要がある。</li> </ul>
【質問7】	現在のお住まいの居住形態に ついてお答えください。	<ul> <li>・持ち家が539人(62.0%)で最も多く、次に賃貸マンション・アパートが続き148人(17.0%)となっている。</li> <li>・持ち家に関しては、年代が上がるにつれて持ち家の割合が高くなる傾向が見られる。賃貸マンション・アパートに関しては、40歳未満の人が回答が多くなっている。</li> <li>・居住地域別では、中央地域を除き、持ち家と回答した人が多くなっている。また、中央地域、南小樽地域では、分譲マンション・アパートと回答した人の割合がほかの地域と比べて高くなっている。</li> </ul>	₽ •

数が減っている。

# 小協士のまたべんに関する士中で、ケート国本

<b>/</b> 」\	一樽中のまち	つくりに関する巾氏アンケート調宜	
	主な設問	分析概要	
【質問8】	現在、あなたは、日常生活の中で、以下の施設について、a.どこの地域にある施設を利用していますか。(よく利用する・利用する)b.よく利用する施設を利用する施設を利用するが。	・日常生活の中で、「よく利用する」と「利用する」施設として、「食料品・日用品販売店舗」、「金融機関」、「コンビニエンスストア」、「生活用品販売店舗」、「飲食店」の順に回答数(複数回答)が多く、上位4施設は8割以上の回答者が選択している。 ・「生活用品販売店舗」では、南小樽地域や市外(札幌・余市)と回答した人が多く、「総合病院」では、小樽市立病院がある南小樽地域が多くなっている。・「よく利用する」施設としては、「食料品・日用品販売店舗」、「金融機関」、「コンビニエンスストア」、「生活用品販売店舗」の順に回答数が多く、回答者の半数もしくはそれ以上の方がよく利用すると回答している。・施設の立地場所を見ると、施設の種類によって違いが見られるものの、中央地域が多くなっている。・「生活用品販売店舗」では、南小樽地域や市外(札幌・余市)と回答した人が多く、「総合病院」では、小樽市立病院がある南小樽地域が多くなっている。・「利用する」施設としては、「食料品・日用品販売店舗」、「コンビニエンスストア」、「金融機関」、「飲食店」の順に回答数が多く、利用する施設の場所では、中央地域と南小樽地域と回答数が多くなっている。・「よく利用する」施設への移動手段では、社会福祉施設と集会施設以外はすべて「自家用車・オートバイ」を選択した人が多くなっている。集会施設、コンビニエンスストア、社会福祉施設、金融機関では、3割以上の方が「徒歩」を選択している。総合病院、社会福祉施設に関しては、「バス」を選択した方が2番目に多くなっている。	<ul> <li>・買い物、金融、飲食の施設の利用割合が高いことから、日常生活を支える拠点機能の確保を基本に考えていく必要がある。</li> <li>・また、市立病院のような地域の中核的な役割を担う施設の立地も適切に位置付けていく必要がある。</li> <li>・施設への移動手段も現状は「自家用車・オートバイ」が大半を占めるが、今後のさらなる高齢化や子育て支援の推進の観点からバスや徒歩による移動環境の充実を検討する必要がある。</li> </ul>
【質問9】	将来(概ね10年から 20年後)、あなたが 加齢した際、 a.将来も利用したい、必要 な施設だと思いますか。 b.将来、各施設を利用す る場合、どの移動手段が 望ましいと思いますか。	・将来も利用したい、必要だと思う施設については、「食料品・日用品販売店舗」、「金融機関」、「総合病院」、「病院・診療所」の4施設について、回答者の半数以上の方が、「①とても必要だと思う」を選択しています。 ・とりわけ、「食料品・日用品販売店舗」については、「①とても必要だと思う」と「②必要だと思う」の合計が807人で、回答者の約93%の方か必要だと回答しています。 ・各施設への移動手段を見ると、すべての施設で「徒歩」、「バス」、「タク	<ul><li>・将来の生活を考えた場合、買い物、通院のできる環境が特に求められていることから、地域の拠点ごとにどこまで確保するか、検討する必要がある。</li><li>・合わせて、将来に向けて自家用車・オートバイに頼らずに暮らせる環境づくりを検討する必要がある。</li></ul>

シー」を選択した人が現在の回答数よりも増えている。一方、子育て支援施 設、社会福祉施設、集会施設以外の施設で「自家用車・オートバイ」の回答



1 特中のようノ	くりに対する中氏アノソート調且	
設問	分析概要	計画策定に向けた検討課題
【質問10】便利な中心市街地や身近な地域の拠点の近くなどに、あなたが移り住むことについて、関心がありますか。	・便利な中心市街地や身近な地域の拠点の近くなどへ移り住むことについては、回答者全体の半数以上の455人(52.3%)が、関心があると回答している。 ・ 年齢別では、18~29歳、50歳以上で関心があるという回答の割合が高くなっている。 居住地域別では、銭函地域、手宮地域、塩谷地域で、「③あまり関心がない」「④全く関心がない」の回答割合が高くなっている。	<ul><li>・居住年数20年以上の定住者が多い一方、 住宅の建て替えや定年後のセカンドライ フへの移行などを機に、今の住まいから 移り住む市民が一定数いると考えられる。</li><li>・これらの市民層も念頭に、居住誘導策を検 討していく必要がある。</li></ul>
【質問11】身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設はどれですか。	<全体> ・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設は、「スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗」が最も多く、764人(87.8%)の方が選択している。次に、562人(64.6%)が「医院・診療所(内科・小児科)」、473人(54.4%)が「金融機関(銀行・郵便局等)」を選択している。	<ul><li>・小樽市の中核的な都市機能が集まった中心市街地とは別に、中心市街地に車を使って行かなくとも、郊外などの身近な拠点に日常生活を支える機能を立地させ、利用しやすくする考え方が、少子高齢化が進む今後においてより重要になる。</li></ul>
	〈年代別〉 ・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設は、3区分の年齢別の回答に大きな違いは見られず、 <u>各年代とも「スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗」、「医院・診療所(内科・小児科)」が回答者の半数以上の方が選択している。 ・「金融機関(銀行・郵便局等)」は、40歳以上の年代で半数以上の方が選択している。 ・<u>「金融機関(銀行・郵便局等)」は、40歳以上の年代で半数以上の方が選択</u>している。 ・39歳までの年代では、「コンビニエンスストア」を半数以上の方が選択している。</u>	・年代や地域により若干のニーズの違いはあるが、将来もあり続けてほしい施設として認知されているのは食料品・日用品販売店舗、医院・診療所などであり、これらの機能の確保、もしくは立地が難しくても公共交通ネットワークでアクセス・利用しやすくする必要がある。
	〈地域別〉 ・身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、将来もあり続けてほしい施設について、居住地域別の回答に大きな違いは見られず、全地域で「スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗」「医院・診療所(内科・小児科)」が回答者の半数以上の方が選択している。「金融機関(銀行・郵便局等)」は、高島、手宮、山手、南小樽、朝里、銭函地域で半数以上の方が選択している。 塩谷地域では、「コンビニエンスストア」を選択した方が44(55%)で、	₽ ♣ 5
	<u>半数以上</u> となっている。	21





#### ※調査票(参考)

#### 小樽市のまちづくり関する市民アンケート調査票

※回答は、ボールペンや濃い鉛筆などで、直接ご記入ください。

#### I あなたご自身のことについてお聞きします。

質問 1 性 別 (あてはまるもの1つに0)

①男性 ②女性

#### 質問2 年 齢(あてはまるもの1つに0)

①18~29歳 ②30~39歳 ③40~49歳 ④50~59歳 ⑤60~64歳 ⑥65~69歳 ⑦70~74歳 ⑧75歳以上

#### 質問3 職 業 (あてはまるもの1つに0)

①自営業 ②会社員 ③公務員

④パート・アルバイト・派遣 ⑤専業主婦・主夫 (パート・アルバイト除く)

⑥大学生・専門学校生 ⑦無職(年金受給者を含む) ⑧その他(具体的に: ⑦無職(年金受給者を含む)

#### 質問4 ご自宅の自家用車の有無(あてはまるもの1つに0)

①保有しており、自分も運転する ②保有しているが、自分は運転しない ③保有していない

#### 質問5 あなたの現在のお住まい(ご住所)はどちらですか。

小樽市\_\_\_\_\_\_丁目 / 小袋表 現送会会

<記入例> 小樽市\_望洋台2\_丁目、小樽市\_山田町\_丁目

#### 質問6 あなたは現在のところに何年くらいお住まいですか。(あてはまるもの1つにO)

①11年未満 ②1~4年 ③10年~19年 ⑤20年~29年 ⑥30年以上

#### 質問7 現在のお住まいの居住形態についてお答えください。(あてはまるもの1つにO)

①持ち家(一戸建て)②分譲マンション

③借家 (一戸建て) ④賃貸マンション・アパート ⑤公営住宅(市営住宅・道営住宅など) ⑥社宅・官舎・寮・下宿など

⑦老人ホーム・グループホームなどの福祉施設

⑧その他(具体的に:

#### Ⅱ あなたの日常生活についてお聞きします。

質問8

現在、あなたは、日常生活の中で、以下の施設について、

a.どこの地域にある施設を利用していますか。

b.よく利用する施設への主な移動手段はどれですか。

各施設について、下記の「(記入例)」にならって、それぞれお答えください。

<ul> <li>aの欄には、できるだけ、</li> <li>○ : よく利用する施設のある地域</li> <li>○ : 利用する施設のある地域</li> </ul>		a.利用する施設の地域 (複数回答可)								/	\Ø	利用 Eな移 Oに(	動手		
を区別してお書きください。				_	\樽i		_			札	徒	11	鉄	9	自
※複数回答可能、利用していない 場合は空槽で結構です。 なお、「利用する施設の地域」の市 内の各地域は、4 ページをご参照 ください。 ・ <u>bの欄</u> には、よく利用する施設への 主な移動手段に「〇」を1つお書き ください。	①塩谷地域	②長橋・オタモイ地域	③高島地域	④手宮地域	⑤中央地域	⑥山手地域	⑦南小樽地域	8 朝里地域	9銭函地域	幌・余市など市外	歩(車いす等含む)・自転	バス	鉄道	タクシー	]家用車・オートバイ
(\$7.3 (EI)		く利用		施設	-			用する ある地		-	車				
(記入例)	-	1		1	Z			-		۲	ļ	ļ	ļ		
食料品・日用品販売店舗 (スーパー、ドラッグストア等)		<b>`</b> @				o				0	0				
食料品・日用品販売店舗 (スーパー、ドラッグストア等)															
コンビニエンスストア															
衣料品・家電等の生活用品販売店舗															
飲食店(テイクアウト含む)															
金融機関(銀行·郵便局等)															
総合病院															
医院・診療所(内科・小児科)															
子育て支援施設 (保育所・幼稚園・認定こども園等)															
社会福祉施設 (デイサービスセンター等)															
集会施設(集会所・町内会館等)															

6





#### ※調査票(参考)

将来(概ね10年から20年後)、あなたが加齢した際、

a. 将来も利用したい、必要な施設だと思いますか。

b. 将来、各施設を利用する場合、どの移動手段が望ましいと思いますか。 各施設について、下記の「(記入例)」にならって、それぞれお答えください。

	<ul><li>a.将来も必要な施設だと 思いますか。</li><li>(あなたが利用するとして 1つに○)</li></ul>						まし	移動月 ハと思 :まる:	うもの	カ
	とても必要だと思う	必要だと思う	どちらでもない	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	徒歩(車いす等含む)・自転車	バス	鉄道	タクシー	自家用車・オートバイ
(記入例) 食料品・日用品販売店舗 (スーパー、ドラッグストア等)		0				0				
食料品・日用品販売店舗 (スーパー、ドラッグストア等)										
コンピニエンスストア										
衣料品・家電等の生活用品販売店舗										
飲食店(テイクアウト含む)										
金融機関(銀行・郵便局等)										
総合病院										
医院・診療所(内科・小児科)										
子育て支援施設 (保育所・幼稚園・認定こども園等)										
社会福祉施設 (デイサービスセンター等)										
集会施設(集会所・町内会館等)										

Ⅲ 「立地適正化計画」での取り組みについてお聞きします。

#### 立地適正化計画について(1)

「立地適正化計画」では、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、

- ・中心市街地や身近な地域の拠点※には、生活利便施設などの都市機能が集まり維持できるようにする。
- ・中心市街地や身近な地域の拠点の周りや近くの住宅地では、便利な都市機能を利用し、なるべく集ま って住めるようにする。
- ことを、計画の大きな方向性としています。

※「身近な地域の拠点」は、JR駅や利用客の多 いバス停の周辺、幹線道路沿いに店舗などが集 まっている場所をイメージしてください。 (3ページのイメージ図を参照ください。)



質問10 上記の計画の方向性に関連して、便利な中心市街地や身近な地域の拠点の近 くなどに、あなたが移り住むことについて、関心がありますか。

(当てはまるもの1つに0)

①とても関心がある ②関心がある

③あまり関心がない

④全く関心がない

#### 立地適正化計画について(2)

「立地適正化計画」では、中心市街地だけに便利な機能をすべて集めてしまうのではなく、小樽市 のように、海沿いに細長く市街地が広がっている場合には、各地域で身近に利用されている施設の 機能の維持も考え、将来も日常生活が送りやすいよう、身近な地域の拠点への必要な施設配置を検 討していきます。

上記の考え方を踏まえ、身近な地域の拠点で、日常利用する施設として、 将来もあり続けてほしい施設はどれですか。 (当てはまるもの3つまでに0)

①スーパーやドラッグストア等の食料品・日用品販売店舗

②コンビニエンスストア

③衣料品・家雷等の生活用品販売店舗

④飲食店(テイクアウト含む)

⑤金融機関(銀行·郵便局等)

⑥医院·診療所(内科·小児科)

⑦子育て支援施設(保育所・幼稚園・認定こども園等)

⑧社会福祉施設 (デイサービスセンター等)

⑨集会施設 (集会所·町内会館等)

10 その他 (具体的に:

質問12 最後に、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりや「立地適正化計 画」についてお考えがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

8